

北海道大学 御中

公益財団法人原子力安全研究協会

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。

課題名	オープン教材の活用による原子力教育の受講機会拡大と質的向上
実施機関	北海道大学
実施期間	平成29年度～令和元年度

【評価結果】

A	計画以上の優れた成果があげられた
---	------------------

- ※) S : 極めて優れた成果があげられた  
A : 計画以上の優れた成果があげられた  
B : ほぼ計画通りの成果があげられた  
C : 計画通りの成果があげられなかった

【評価委員会所見】

＜推奨意見＞

- 教養科目について、事業実施中に講義内容の改善を図っており、初学者が興味を持ち取り組みやすい形で講義が実施されていることは評価できる。
- オープン教材を使った原子力教育という分野が構築されつつあり、本事業終了後の利活用にも期待ができる。また、新型コロナ禍においては、遠隔授業が急速的に一般的になりつつある中、申請時には予期出来なかった形でこの事業の重要性が浮かび上がったものとする。
- 原子力工学中心ではあるが、リスクコミュニケーション等の社会科学あるいは農学と放射線といった異分野融合の講義もなされている。

＜今後への参考意見＞

- オンライン教材を広く周知し、より多くの学生に認識、使用してもらう方法を検討していく必要がある。また教員においてもオンライン教材を用いた教育をより効果的に実施できるように検討を実施していく必要がある。
- オンライン教材について、収録から時間がたっているにもかかわらず、まだ公開に至っていないものがあり、この作業の期間短縮が必要である。
- MOOCの利用者は年齢層が高いとのことであるが、本システムが、社会の方々にとっても原子力を学ぶための一つの選択肢となると良いと考える。